

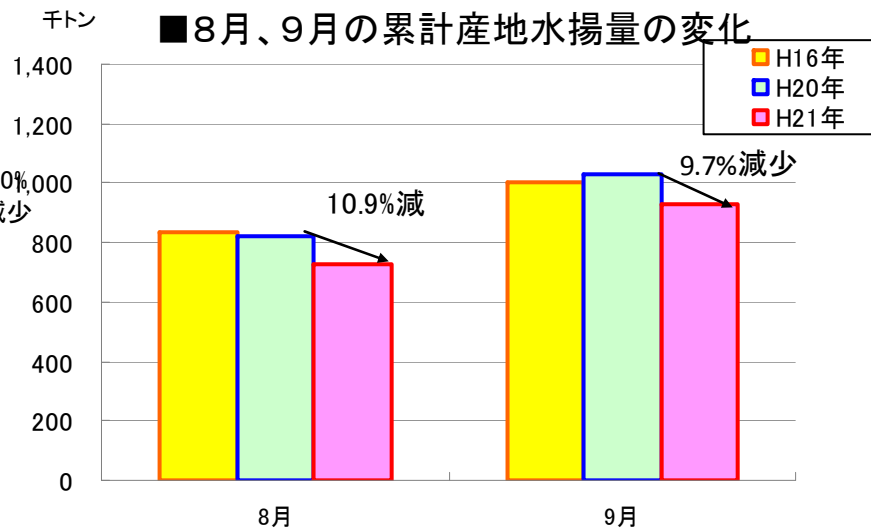
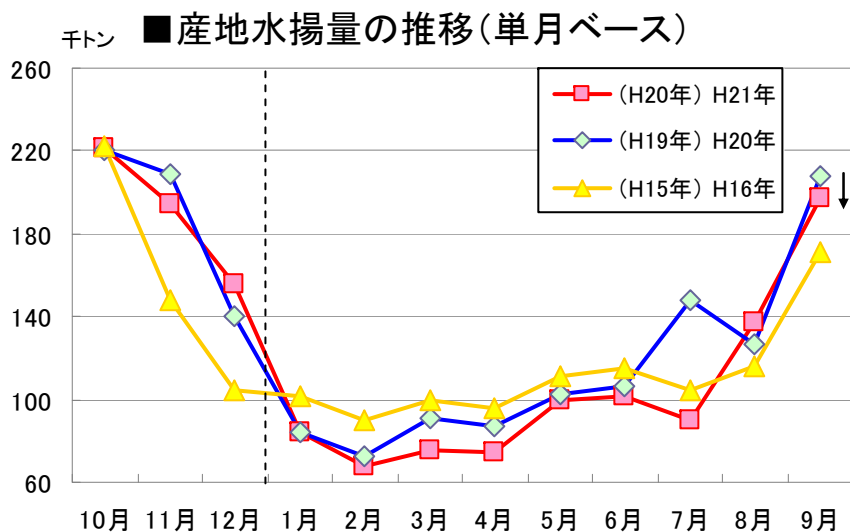
水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)
(平成21年9月)

平成21年11月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

○平成21年9月の水産物産地水揚量は197千トで、前年同月と比べ5.0%減少した。まあじ、まいわしについては、境港での水揚が好調であったことからそれぞれ、36.4%、362.9%増加した。また、生鮮するめいかは、北部太平洋側で好漁が持続し、15.5%増加となった。一方、さんま、さば類ではまとまりをみせたものの、豊漁の昨年と比べ、それぞれ8.7%、9.0%減少した。また、うるめいわし(52.7%減)等では減少した。

○平成21年の水産物の累計産地水揚量は9月までで927千トで、前年同期と比べ9.7%減少した。これは、累月ベースで、生鮮するめいか(65.0%増)、まいわし(111.0%増)、冷凍びんなが(66.0%増)等で水揚量が増加した以上に、さば類(19.0%減)、生鮮かつお(42.0%減)、ほっけ(28.0%減)等で水揚量が減少したためである。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	76	75	99	101	90	137	197	927
	前年同月比	-1.1%	0.0%	-7.2%	-16.7%	-14.3%	-3.5%	-4.9%	-39.2%	8.5%	-5.0%	-9.7%
	H16年同月比	※-1.7%	-17.1%	-25.5%	-23.8%	-21.6%	-11.1%	-11.9%	-13.7%	18.1%	15.3%	-7.7%

出典：農林水産省「産地水産物流通統計」

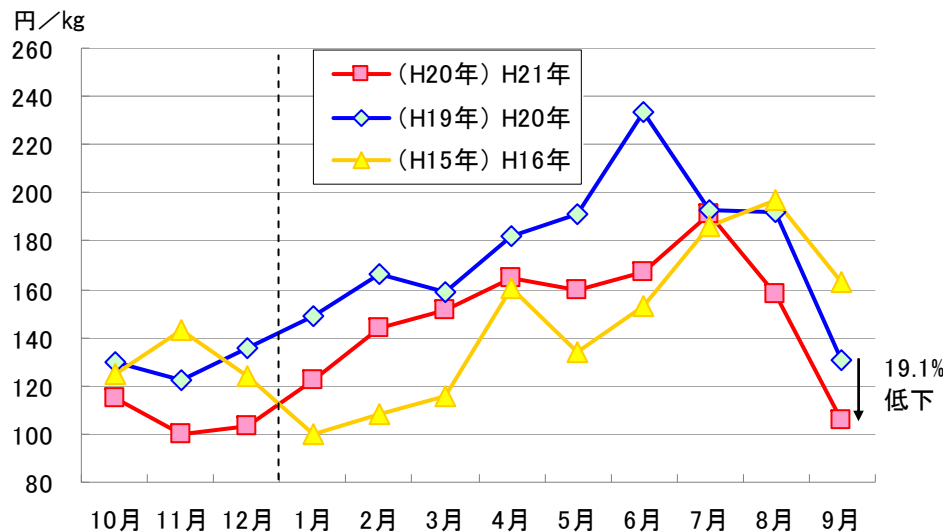
- 注：1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

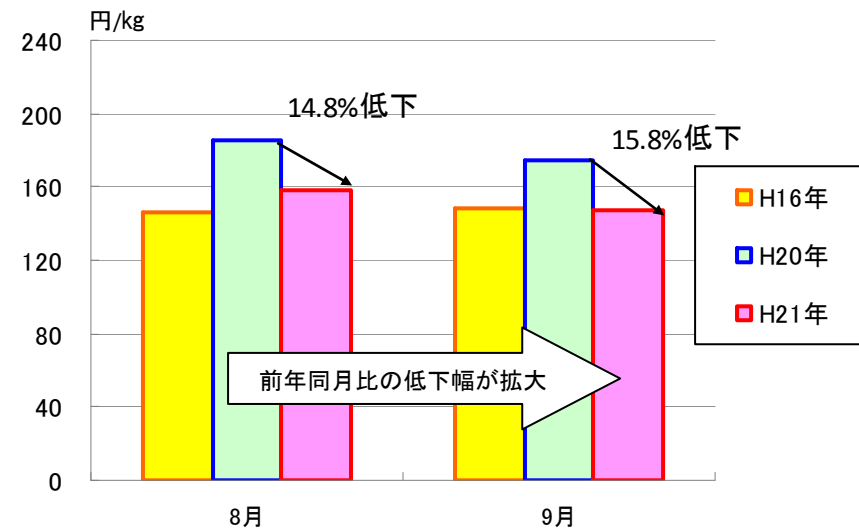
○平成21年9月の産地平均卸売価格は106円/kgで、前年同月と比べ19.1%低下した。これは、前年同月と比べ、生鮮するめいか、生鮮まぐろ、まいわし等で水揚金額が増加したものの、さば類、冷凍かつお、生鮮かつお等で水揚金額が減少したためである。

○平成21年の産地平均卸売価格(累計平均)は9月までで147円/kgで、前年同期と比べ15.8%低下し、前年同期比14.8%低下であった先月から低下幅は拡大した。累月ベースでは、生鮮するめいか、まいわし、生鮮びんなが等で水揚金額が増加したが、冷凍かつお、さば類、生鮮かつお等で水揚金額が減少した。

■ 産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



■ 8月、9月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21平均
平均産地 卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	151	165	160	167	191	158	106	147
	前年同月比	4.9%	-17.4%	-13.3%	-4.8%	-9.4%	-16.3%	-28.4%	-1.1%	-17.4%	-19.1%	-15.8%
	H16年同月比	※0.0%	22.8%	33.7%	30.7%	2.7%	19.7%	9.3%	2.7%	-19.7%	-34.9%	-0.9%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累積水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月～9月	20年 1月～9月	対前年 同期比	平成21年 1月～9月	20年 1月～9月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	2 178	2 678	81	1 533	1 644	93
〃 (冷凍)	2	405	615	66	1 712	3 119	55
びんなが (生鮮)	3	33 468	27 659	121	270	307	88
〃 (冷凍)	4	14 617	8 798	166	277	399	69
めばち (生鮮)	5	4 305	5 850	74	1 006	1 047	96
〃 (冷凍)	6	13 173	15 745	84	790	848	93
きはだ (生鮮)	7	6 805	9 283	73	652	637	102
〃 (冷凍)	8	5 742	7 101	81	542	595	91
かつお (生鮮)	9	39 657	68 010	58	352	303	116
〃 (冷凍)	10	154 419	174 096	89	149	204	73
まいわし	11	30 204	14 290	211	102	111	92
うるめいわし	12	14 446	15 927	91	60	62	97
かたくちいわし	13	67 118	80 264	84	34	56	61
まあじ	14	83 826	80 360	104	160	227	70
むろあじ	15	13 507	15 880	85	118	102	116
さば類	16	228 045	281 354	81	71	88	81
さんま	17	93 548	91 432	102	96	112	86
ほっけ	18	57 452	79 343	72	47	62	76
するめいか (生鮮)	19	42 115	25 494	165	145	162	90
〃 (冷凍、遠洋)	20	753	1 269	59	176	183	96
〃 (冷凍、近海)	21	21 760	21 272	102	221	213	104

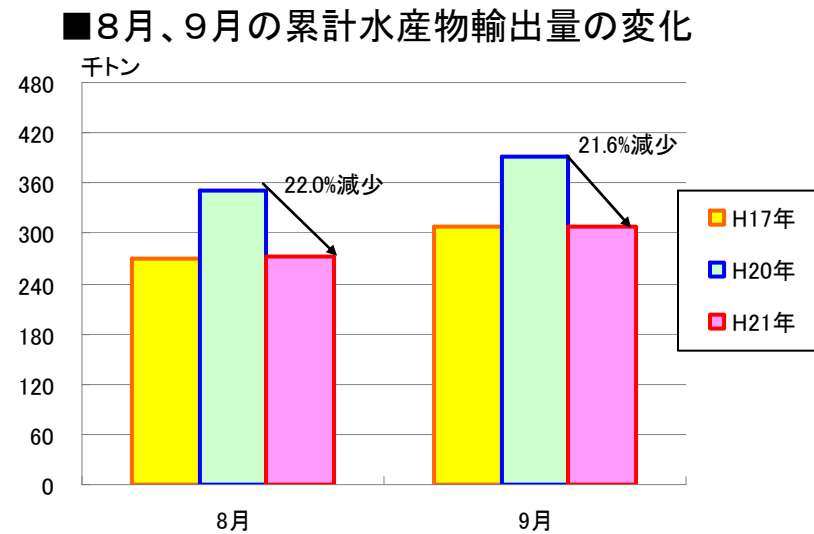
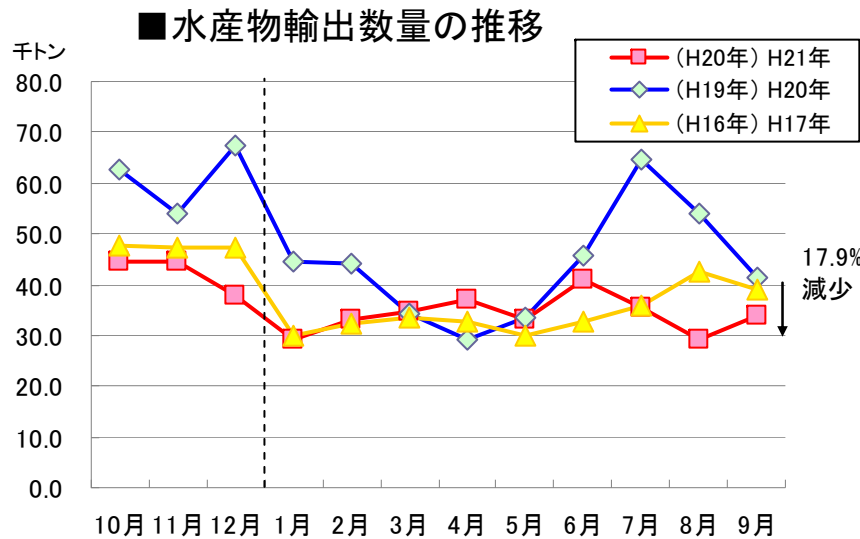
資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3-① 水産物輸出数量の動向

○平成21年9月の水産物輸出量は34.0千トで、前年同月と比べ17.9%減少した。輸出量が大幅に減少した昨年(20年)に比べ、すけとうだらでは194.8%増加。国内での漁獲が好調なさんまでは、104.9%の増加となった。かつお類は、タイの缶詰原料向けが好調で45.3%増加。一方、漁獲量の減少や円高により、さば(64.5%減)、たい(48.2%減)等で輸出量が減少。さけ・ます類では、国内の漁獲が当初の不漁予想に反してまとまりをみせたものの、漁獲量の先行きの不安から輸出向けが出遅れたことにより20.8%減少となった。

○平成21年の累計水産物輸出量は9月までで307.0千トで、前年同期と比べ21.6%減少した。品目別にみると、すけとうだら(29.8%増)、びんながが好調であったまぐろ類(38.6%増)、冷凍さんま(19.4%増)等で輸出量が増加。円高や世界的な経済不況の影響、国内漁獲量の減少により、さば(44.3%減)、かつお類(70.2%減)、いか(32.5%減)等の品目で輸出量が減少した。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	33.1	41.0	35.5	29.3	34.0	307.0
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-0.7%	-10.7%	-45.0%	-45.9%	-17.9%	-21.6%
	H17年同月比	※22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	10.5%	25.4%	-0.5%	-31.3%	-13.0%	-0.5%

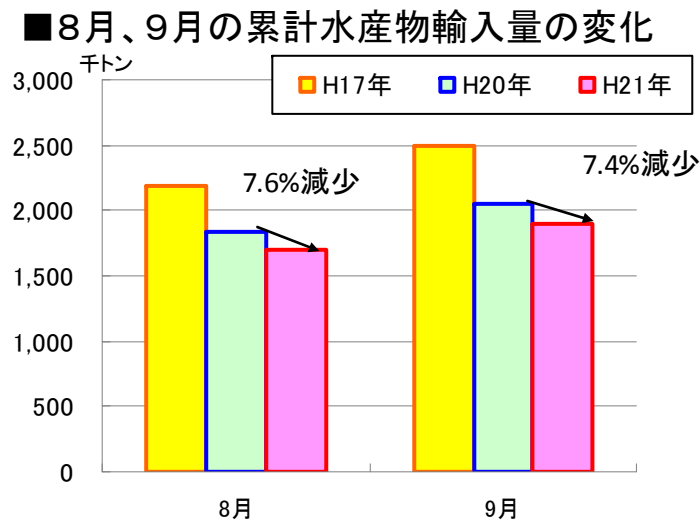
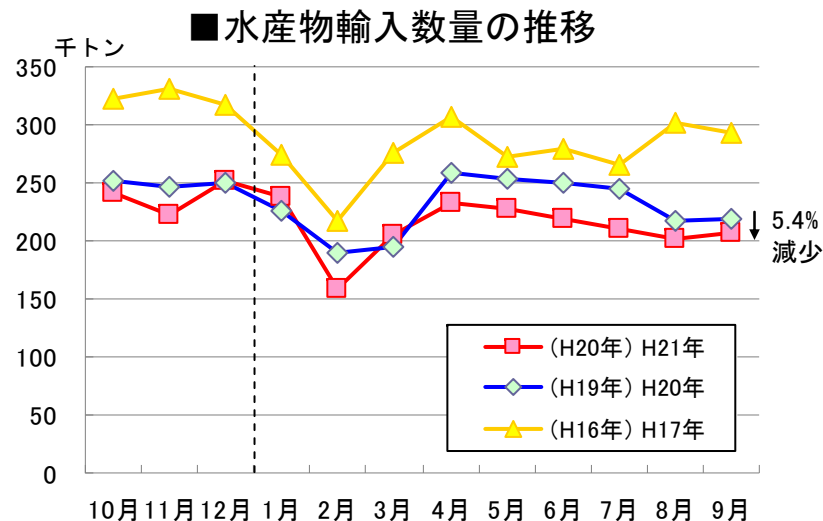
資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の※については、平成16年合計値との比較である。
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3-② 水産物輸入数量の動向

○平成21年9月の水産物輸入量は207千トンド、前年同月と比べ5.4%減少した。品目別にみると、さけ・ますについては、米国の豊漁、ロシア定置網漁の成約遅れで輸入が集中したことにより、べにざけで55.4%の増加した。また、銀ざけではチリ産が好調のため、前年同月を36.8%上まわったことから、全体では22.4%の増加となった。たこは、モーリタニア産からの輸入増加により149.1%増加した。一方、米国产の減産により、たらでは45.6%の減少。国内需要の低下などから、まぐろ類(13.3%減)、ひらめ・かれい(29.5%減)等で輸入量が減少している。

○平成21年の累計水産物輸入量は9月までで1,901千トンド、前年同期と比べ7.4%減少した。品目別にみると、円高や国内需要の増加により、かつお類(76.6%増)、あさり(48.0%増)、魚粉(2.9%増)、たこ(11.3%増)等で輸入量が増加。一方、たらでは、米国产すけとうだらの減産により輸入量が28.5%減少した。さけ・ますでは、チリ産銀ざけの減産の影響により輸入量が5.7%減少。さばでは、中国、ノルウェーからの輸入が減少したため、34.1%の減少となった。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	206	233	227	219	210	202	207	1,901
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-10.1%	-12.0%	-14.5%	-6.8%	-5.4%	-7.4%
	H17年同月比	※-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-16.5%	-21.4%	-21.2%	-33.0%	-29.3%	-23.6%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の※については、平成16年合計値との比較である。
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考)品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～9月	平成20年 1～9月	前年 同月比	品目	平成21年 1～9月	平成20年 1～9月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	60.9	109.3	-44.3%	魚粉	219.4	213.2	2.9%
すけとうだら(生・蔵・凍)	37.8	29.1	29.8%	さけ・ます(生・蔵・凍)	188.5	199.9	-5.7%
さんま(冷凍)	37.5	31.4	19.4%	まぐろ類(生・蔵・凍)	159.6	162.7	-1.9%
まぐろ類(生・蔵・凍)	26.7	19.2	38.6%	えび(活・生・蔵・凍)	143.5	145.0	-1.0%
さけ・ます(生・蔵・凍)	19.3	24.1	-20.1%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	58.7	63.8	-7.9%
いか(生・蔵・凍)	16.0	23.6	-32.5%	えび(調製)	46.4	46.2	0.5%
かつお類(生・蔵・凍)	15.8	52.9	-70.2%	かに(活・生・蔵・凍)	46.1	50.3	-8.3%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	8.0	9.0	-11.3%	たら(生・蔵・凍・すり身)	44.5	62.2	-28.5%
ほや(活・生・蔵)	5.6	4.8	18.1%	かつお類(生・蔵・凍)	40.7	23.0	76.6%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	4.8	6.1	-20.5%	ひらめ・かれい(生・蔵・凍)	39.4	45.8	-14.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

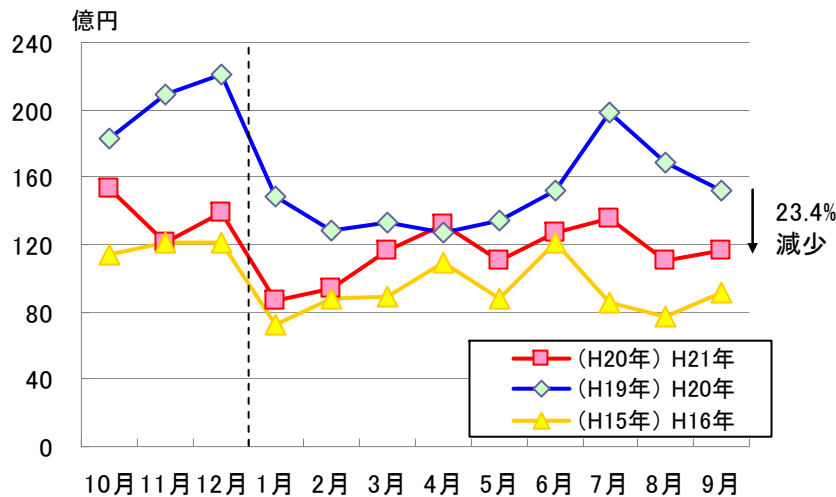
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

4-① 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

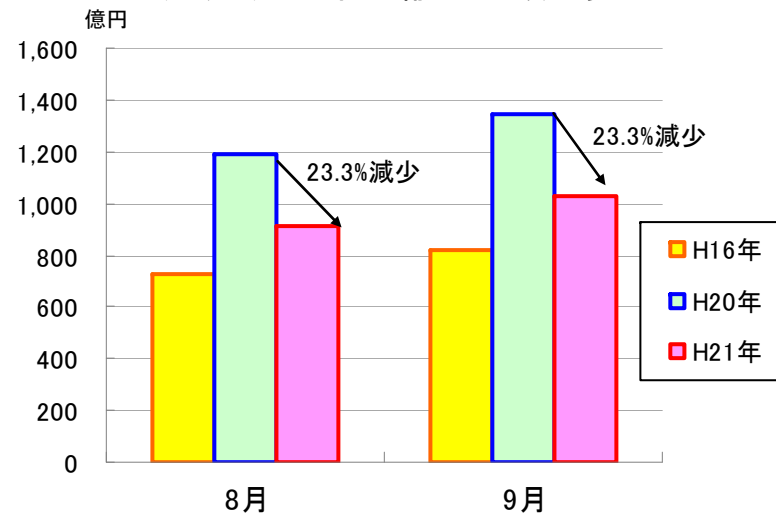
○平成21年9月の水産物輸出金額は116億円で、前年同月と比べ23.4%減少した。これは、すけとうだら(62.0%増)、冷凍さんま(73.6%増)、さば缶詰(378.4%増)等で輸出金額が増加した以上に、さば(75.0%減)、ホタテ貝(22.7%減)、乾燥なまこ調製品(33.9%減)等で輸出金額が減少したためである。

○平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は9月までで1,030億円で、前年同期と比べ23.3%減少した。品目別にみると、ぶり(42.5%増)、貝柱調製品(17.9%増)、さば缶詰(326.8%増)等で輸出金額が増加。円高や世界的な経済不況により、かつお類(81.3%減)、さば(54.7%減)、乾燥なまこ調製品(30.9%減)等で輸出金額が減少した。

■水産物輸出金額の推移(単月ベース)



■8月、9月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21累計
輸出	金額(億円)	1,772	87	94	116	131	111	128	136	110	116	1,030
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-17.4%	-16.2%	-31.5%	-34.7%	-23.4%	-23.3%
	H16年同月比	※59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	27.0%	5.7%	58.9%	43.1%	27.6%	25.5%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

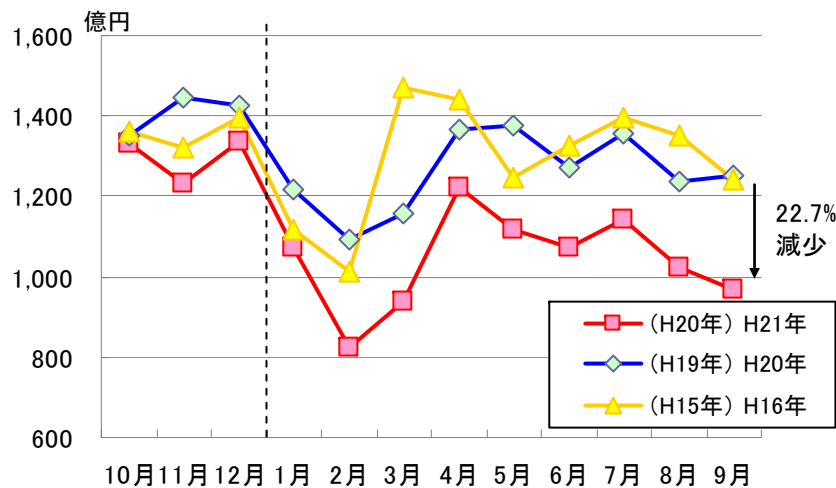
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

4-② 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

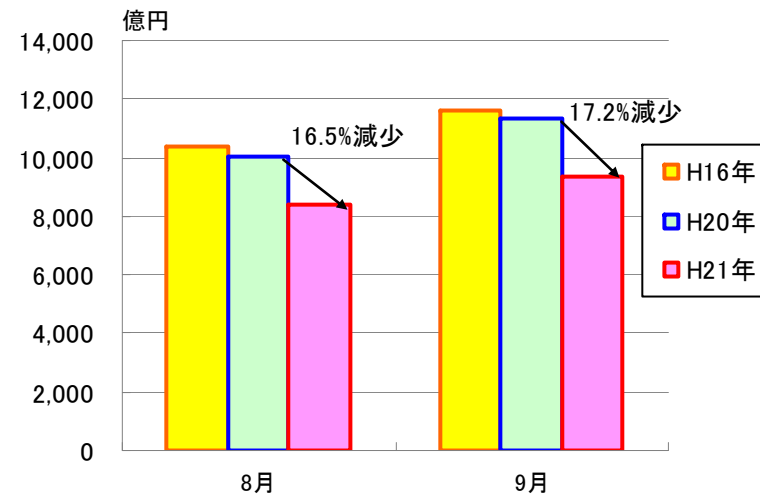
○平成21年9月の水産物輸入金額は969億円で、前年同月と比べ22.7%減少した。これは、さけ・ます(21.1%増)、たこ(95.1%増)、たら卵(44.3%増)等で輸入金額が増加した以上に、まぐろ類(38.8%減)、えび(20.8%減)、たら(67.4%減)等の輸入金額が減少したためである。

○平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は9月までで9,375億円で、前年同期と比べ17.2%減少した。品目別にみると、あさり(46.6%増)、さけ・ます(1.2%増)、かつお類(16.4%増)等で輸入金額が増加。国内需要の低迷や円高により、まぐろ類(17.3%減)で輸入金額が減少。また、たら卵(41.8%減)、えび(14.0%減)で輸入金額が減少した。

■水産物輸入金額の推移(単月ベース)



■8月、9月の累計輸入金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21累計
輸入	金額(億円)	15,249	1,074	823	937	1,220	1,115	1,073	1,141	1,023	969	9,375
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-18.9%	-15.5%	-15.8%	-17.2%	-22.7%	-17.2%
	H16年同月比	※-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-10.5%	-19.0%	-18.4%	-24.2%	-22.1%	-19.2%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考)品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～9月	平成20年 1～9月	前年 同月比	品目	平成21年 1～9月	平成20年 1～9月	前年 同月比
真珠	156.7	270.9	-42.1%	まぐろ類(生・蔵・凍)	1414.3	1709.8	-17.3%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	92.4	114.0	-19.0%	えび(活・生・蔵・凍)	1223.8	1422.6	-14.0%
まぐろ類(生・蔵・凍)	81.7	75.8	7.7%	さけ・ます(生・蔵・凍)	1032.1	1020.3	1.2%
乾燥なまこ(調製)	71.3	103.2	-30.9%	えび(調製)	373.0	394.3	-5.4%
貝柱(調製)	63.0	53.4	17.9%	かに(活・生・蔵・凍)	306.4	431.8	-29.1%
さば(冷蔵・冷凍)	55.8	123.2	-54.7%	たら卵(生・蔵・凍)	298.2	512.1	-41.8%
すけとうだら(生・蔵・凍)	49.2	50.5	-2.6%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	251.3	289.3	-13.2%
魚(生きているもの)	46.9	65.4	-28.4%	生きている魚	229.7	389.5	-41.0%
ぶり(生・蔵・凍)	42.3	29.7	42.5%	魚粉	202.9	222.2	-8.7%
さけ・ます(生・蔵・凍)	42.3	49.6	-14.8%	真珠	194.6	321.9	-39.5%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

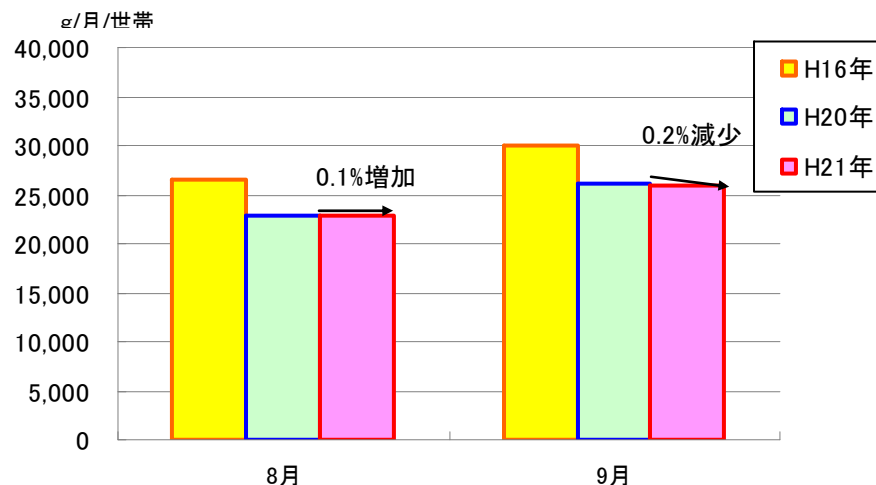
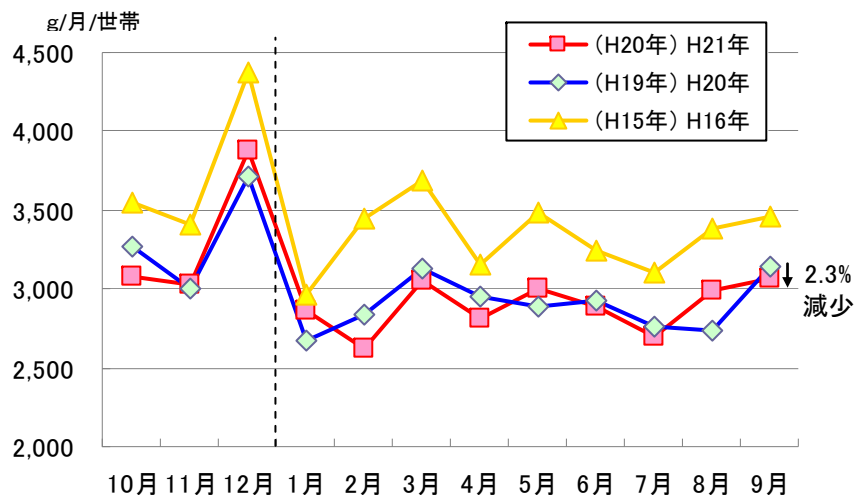
注：1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

5-① 生鮮魚介の家計購入数量の動向

○平成21年9月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は3,064g/月/世帯で、前年同月と比べ2.3%減少した。品目別では、さんま(10.3%増)、まぐろ(17.8%増)、さけ(4.2%増)、たこ(18.9%増)等で購入数量が増加したものの、ぶり(12.8%減)、いか(4.8%減)、あじ(8.3%減)、えび(6.7%減)等では購入数量が減少した。

○平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たりの累計購入数量は9月までで26,006g/月/世帯で、前年同期と比べ0.2%減少した。品目別にみると、さんま(15.5%増)、たこ(20.9%増)、えび(6.2%増)、たい(11.5%増)等で購入数量が増加したものの、いか(6.1%減)、あじ(4.8%減)、かつお(6.8%減)等で購入数量が減少している。

■魚介類1世帯1月当たり購入数量の推移(単月ベース) ■8月、9月の魚介類1世帯1月当たり購入数量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	2,997	2,887	2,701	2,989	3,064	26,006
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	3.8%	-1.4%	-2.2%	9.0%	-2.3%	-0.2%
	H16同月比	※-14.9%	-3.2%	-23.8%	-17.1%	-10.6%	-14.1%	-11.0%	-13.1%	-11.6%	-11.3%	-13.1%

資料:総務省「家計調査報告」

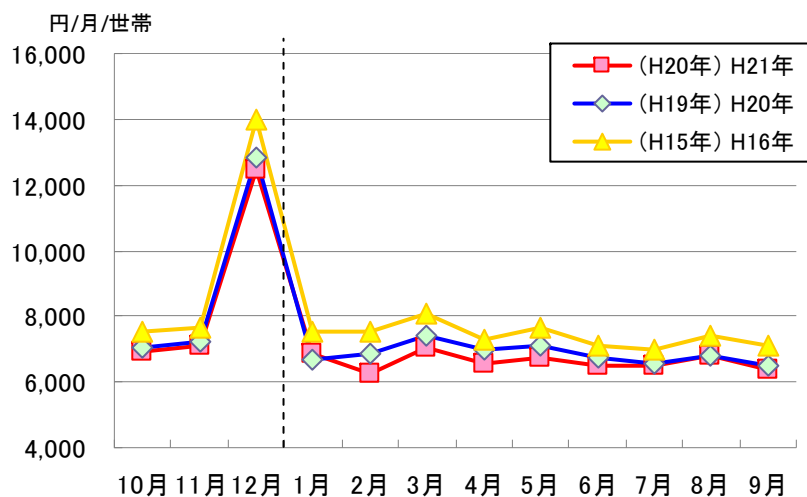
- 注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

5-② 魚介類の家計消費支出の動向

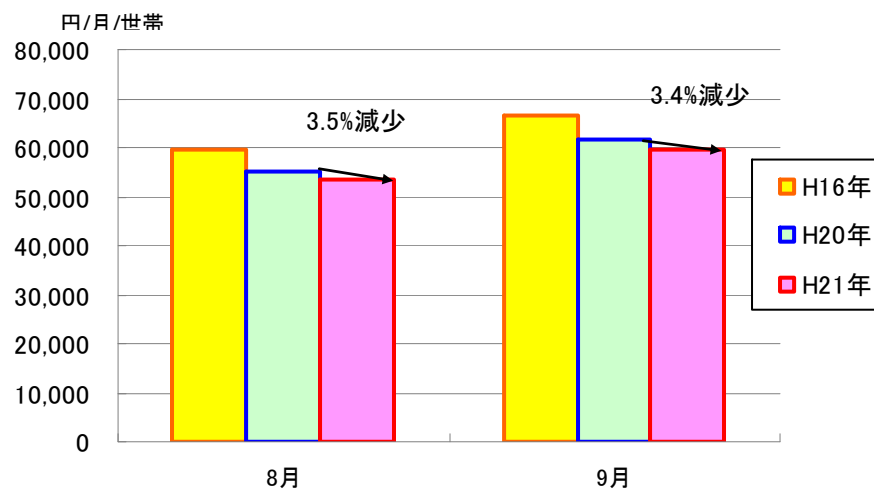
○平成21年9月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,377円/月/世帯で、前年同月と比べ2.0%減少した。品目別では、まぐろ(9.2%増)、さんま(4.2%増)、さけ(3.7%増)、たこ(10.6%増)等で支出金額が増加したものの、さしみ盛合わせ(7.7%減)、たらこ(13.1%減)、ぶり(13.0%減)、いか(8.0%減)等では、支出金額が減少した。

○平成21年の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は9月までで59,649円/月/世帯で、前年同期と比べ3.4%減少した。品目別にみると、たこ(7.6%増)、さんま(7.1%増)、ちくわ(5.4%増)、揚げかまぼこ(2.8%増)えび(2.0%増)等の品目で支出金額が増加したものの、かまぼこ(7.6%減)、いか(6.9%減)、たらこ(6.6%減)、さしみ盛合わせ(3.4%減)、あじ(10.2%減)等の品目で支出金額が減少した。

■魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



■8月、9月の魚介類1世帯1月当たり支出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	6,767	6,515	6,494	6,803	6,377	59,649
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.9%	-3.7%	-0.9%	0.0%	-2.0%	-3.4%
	H16同月比	※-10.4%	-9.2%	-17.5%	-12.7%	-9.7%	-11.8%	-8.1%	-7.1%	-8.4%	-10.0%	-10.6%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

(参考)品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 9月	対前年 同月比	平成21年 1~9月	対前年 同月比	平成21年 9月	対前年 同月比	平成21年 1~9月	対前年 同月比		平成21年 9月	対前年 同月比	平成21年 1~9月	対前年 同月比
鮮魚	2,880	-2.2%	23,518	-0.3%	3,608	-2.7%	32,443	-3.6%	塩干魚介	1,104	-5.6%	10,828	-6.4%
まぐろ	199	17.8%	1,844	0.3%	449	9.2%	4,211	-2.0%	塩さけ	151	-3.8%	1,385	-4.5%
あじ	122	-8.3%	1,259	-4.8%	113	-13.1%	1,183	-10.2%	たらこ	199	-13.1%	2,010	-6.6%
いわし	43	-8.5%	593	6.3%	41	2.5%	475	-1.5%	しらす干し	116	-4.9%	1,085	-8.7%
かつお	80	-5.9%	869	-6.8%	118	-8.5%	1,345	-8.2%	干しあじ	78	-16.1%	845	-6.1%
かれい	90	2.3%	972	0.7%	105	-2.8%	1,141	-7.2%	干しいわし	24	-14.3%	301	-8.5%
さけ	298	4.2%	2,305	2.6%	389	3.7%	3,070	-0.8%	煮干し	31	-11.4%	282	-12.7%
さば	106	-4.5%	971	0.3%	91	-9.0%	807	-4.5%	他の塩干魚介	505	0.0%	4,920	-5.9%
さんま	622	10.3%	1,723	15.5%	395	4.2%	1,057	7.1%	魚肉練製品	659	0.5%	6,061	-0.1%
たい	58	11.5%	609	11.5%	93	-2.1%	976	-4.8%	揚げかまぼこ	209	1.5%	1,860	2.8%
ぶり	136	-12.8%	1,288	-0.1%	200	-13.0%	2,064	-5.1%	ちくわ	149	2.1%	1,339	5.4%
いか	256	-4.8%	2,125	-6.1%	230	-8.0%	2,016	-6.9%	かまぼこ	185	-2.1%	1,868	-7.6%
たこ	63	18.9%	620	20.9%	104	10.6%	1,022	7.6%	他の魚肉練製品	115	0.0%	990	2.4%
えび	154	-6.7%	1,463	6.2%	270	-3.2%	2,494	2.0%	他の魚介加工品	742	2.8%	7,116	-0.8%
かに	37	-9.8%	371	0.5%	66	-9.6%	792	-3.9%	かつお節・削り節	76	0.0%	708	-0.7%
他の鮮魚	419	-5.0%	4,290	-5.2%	559	-6.7%	5,775	-6.9%	魚介の漬物	204	4.1%	1,910	-0.7%
さしみ盛合わせ	143	-4.0%	1,483	-3.1%	386	-7.7%	4,011	-3.4%	魚介のつくだ煮	86	14.7%	735	-7.1%
貝類	189	-1.6%	2,476	1.5%	264	3.9%	3,201	-1.9%	魚介の缶詰	176	1.7%	1,815	2.9%
あさり	74	2.8%	886	-5.0%	71	-4.1%	850	-5.5%	他の魚介加工品の その他	199	-2.0%	1,950	-1.6%
しじみ	30	-9.1%	260	7.4%	41	10.8%	348	4.2%					
かき	3	-50.0%	305	-1.0%	6	-33.3%	491	-1.4%					
ほたて貝	63	-1.6%	720	6.8%	118	8.3%	1,127	0.1%					
他の貝	20	33.3%	274	3.0%	28	12.0%	385	-6.1%					

資料:総務省「家計調査報告」
(農林漁家世帯を除く2人以上の世帯)

○本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

○次回(平成21年10月版)の発行は、平成21年12月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344